

各位



平成 29 年 3 月 30 日

会社名 東京コスモス電機株式会社

代表者名 代表取締役社長 高橋 秀実  
(コード番号 6772)

問合せ先責任者 管理本部企画部

執行役員企画部長 小野沢 一実

(TEL 046-253-2111)

## 取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社取締役会は、「コーポレートガバナンス・コードに関する当社の取り組み」に基づき、当社取締役会の実効性に関する評価を実施いたしましたので、その結果を下記のとおりお知らせします。

### 記

#### 1. 分析・評価の方法、プロセス

(1). 当社取締役会は取締役会の実効性を分析・評価するにあたり、取締役会事務局及び監査等委員会が専門家と協議して作成した「取締役会の自己評価アンケート」に基づいて、平成 29 年度 3 月期を評価対象期間とし、全ての取締役（監査等委員を含む）が自己評価を実施しました。本日、取締役会において、その評価結果の分析及び認識された課題の共有を行うとともに、より実効性の高い取締役会の実現に向けた建設的な討議を実施しました。

#### (2). 評価項目

評価を実施した大項目は以下の通りです。 その他、自由な意見、提案を併せて記入する方式といたしました。

- ① 取締役会の規模・公正
- ② 取締役会課題の選定
- ③ 取締役会の運営方法
- ④ 取締役会外の体制
- ⑤ 取締役自身の評価
- ⑥ 株主様との関係充実について

- ⑦ ガバナンスの在り方
- ⑧ 任意の諮問委員会

## 2. 分析・評価結果の概要

- (1). 各取締役による評価アンケートの集計・分析の結果、全ての大項目において実効性はおおむね確保されていると結論づけました。
- (2). 大項目「取締役会外の体制」は詳細項目「取締役のトレーニングの機会」などで相対的に評価が低くなっております。また、大項目「取締役会の規模・公正」の評価は高いものの、詳細項目において、「取締役（監査等委員を除く）の人数」及び「取締役の多様性」については各取締役の評価のギャップの多い又は相対的に評価が低い項目となっており、当社取締役会として今後重点的に対応してまいります。
- (3). 今後の対応について
  - ① 取締役のトレーニングの機会としては本年度、社外取締役も含め子会社工場見学を実施し、さらに常勤取締役には年1回の研修（本年度は長時間労働について）を行っておりますが、さらに各取締役に対し、個別のトレーニングの推奨をしております。
  - ② 現取締役（監査等委員を除く）の人数に関しては、執行役員も含めて業務全般をカバーしている状態ではありますが、各担当業務に少なくとも一人の担当取締役が当たることの出来るよう増員を計画しており、次の株主総会にお諮りする予定であります。
  - ③ 取締役の多様性に関しては、女性取締役の実現についての目途が立っていないこと等に関連して評価が低くなっておりますが、現時点で拙速に割り当てるといった考え方ではなく、適任者を探すこととしたいと存じます。

当社取締役会におきましては今回の評価結果及び課題への対応を踏まえ、引き続き取締役会の実効性の向上を図ってまいります。

以上